

名  
奴  
口  
物語

源

~ 13
3838
2



門 13  
號 3838  
卷 2



公  
種  
負  
物  
語  
如  
以  
魚  
曲  
屬

屋 藤  
版 岡

上 七  
冊 編





松本書之持

白

舞

白



下編七

舞  
舞  
舞



上編七



豐國画  
種員作

袴



八編下



女



八編上

藤岡屋板

甲子の冬、あまのこがはるく  
 うたうちのまゝにこれさうく



錢湯小並ふ 髪結床ハ隣家ハ垢のたまり 序巳櫛の齒と埋るも多かき  
 夫狹羅廊の傍に 荷居る夜蕎麥賣ハ彼揚鍋の湯氣を借て此振笊を  
 潤あるべし それより僅異れども此書あらぬひも一陽齋が筆の妙手ふ  
 依り流行神史の數ふのりくと噂をきけり 當年ハ格別丹誠を盡し  
 人物ハ心も更あり 屋体圖より衣服の模様或景色に至迄至極微細  
 画つれど是を前文のこ比とるふ 焚加減に新造風呂の板間を編木と  
 ン洗ふのりけり 近頃用る藤竹屑を磨き又揚物屋が濱川鯉鉈切鯉等  
 鮮き東西の限とて 櫃の油で調下たるにむかひとけり 亦看官の御意ふ  
 的ハ益愛顧一たすしふがそれハ透引く夜響の下品可漏子判  
 初心の未熟髪結も劣し 拙作ハ聊ハ江湖ハ售る事もあるべし

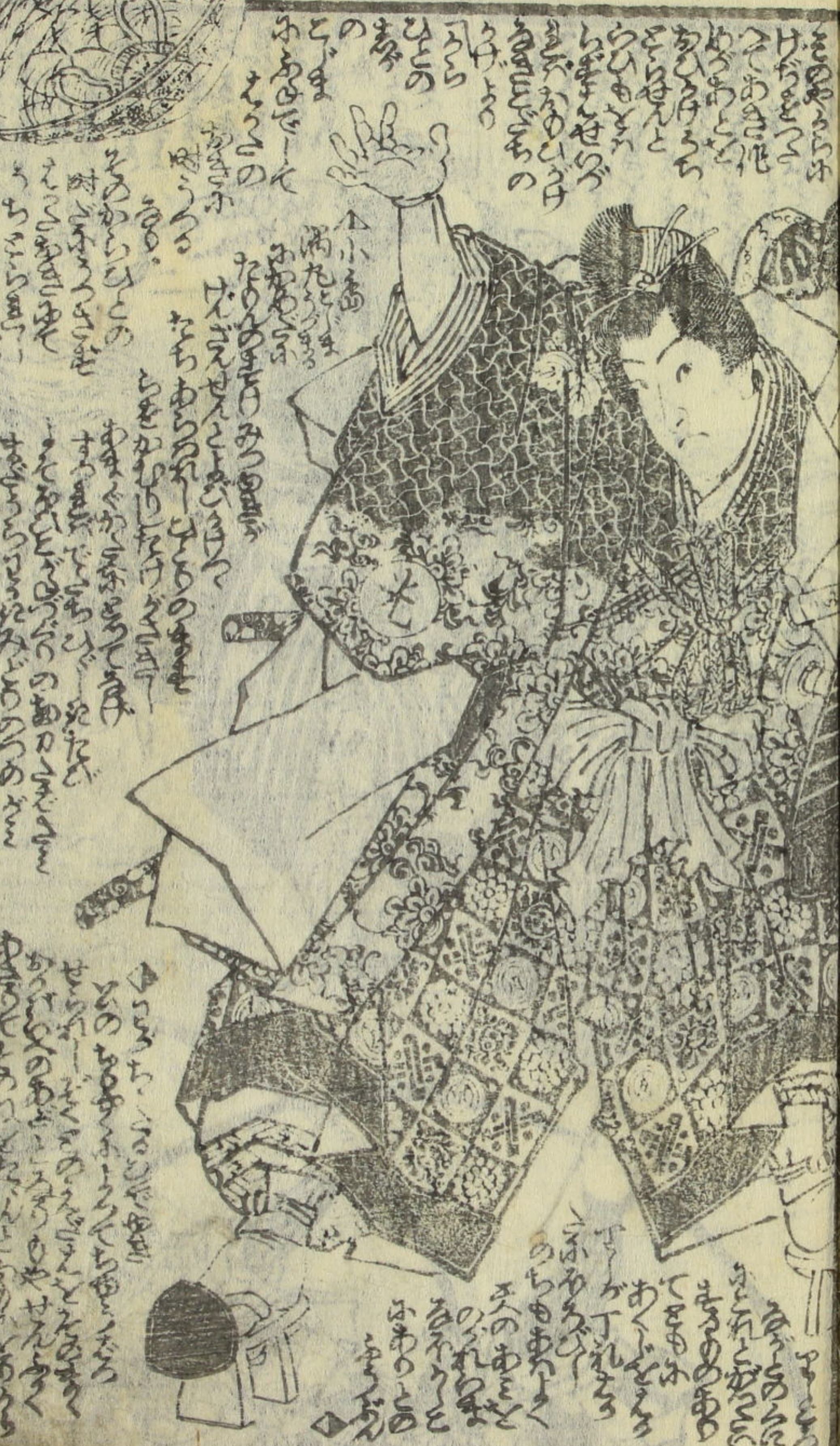
嘉永壬子正月  
 柳下亭種員記

まるぬいヒ





Handwritten text in the left margin, including a small circular diagram at the top left.



Handwritten text in the left margin of the right page, including a small circular diagram at the bottom left.



Handwritten text in the right margin, including a small circular diagram at the bottom right.





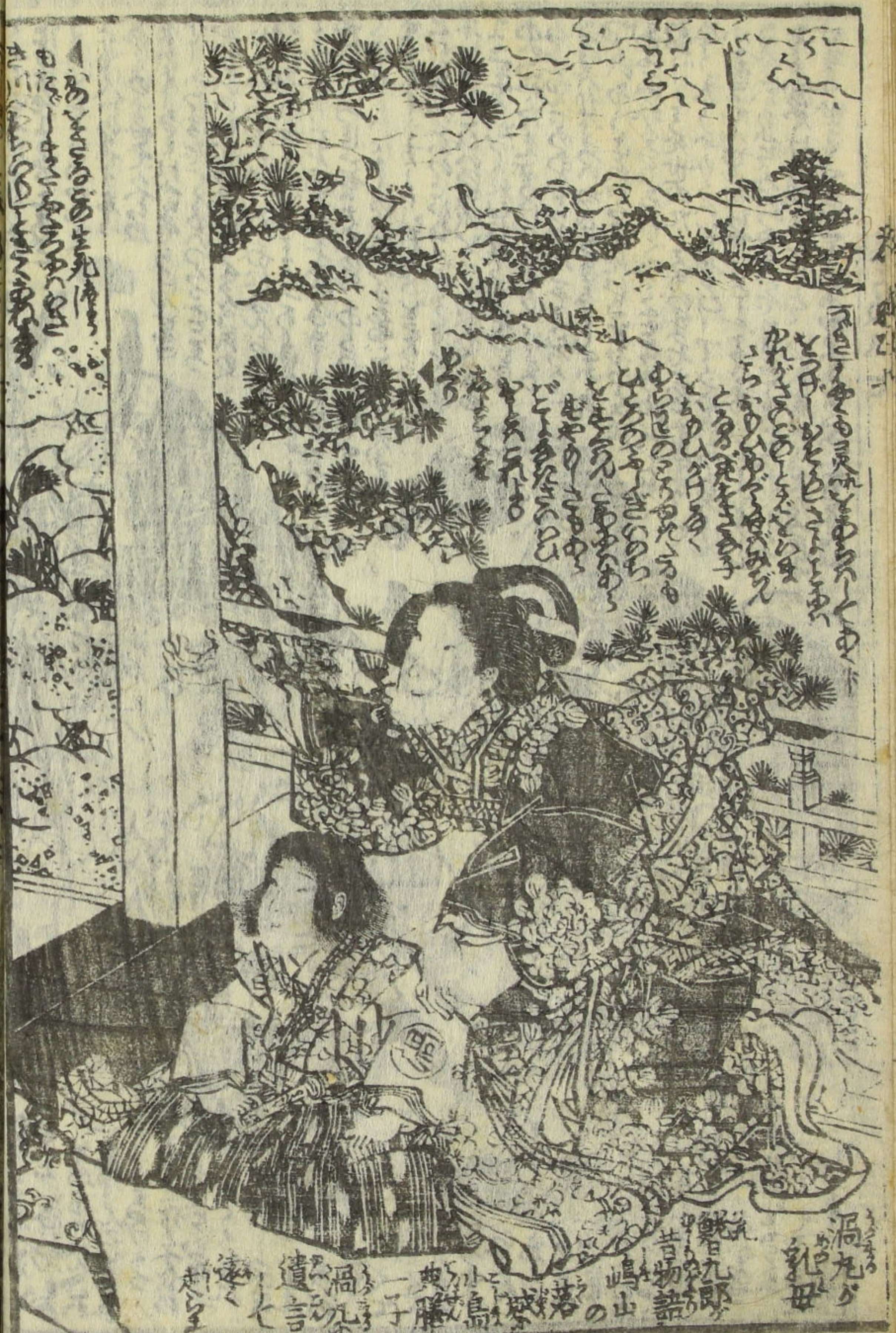






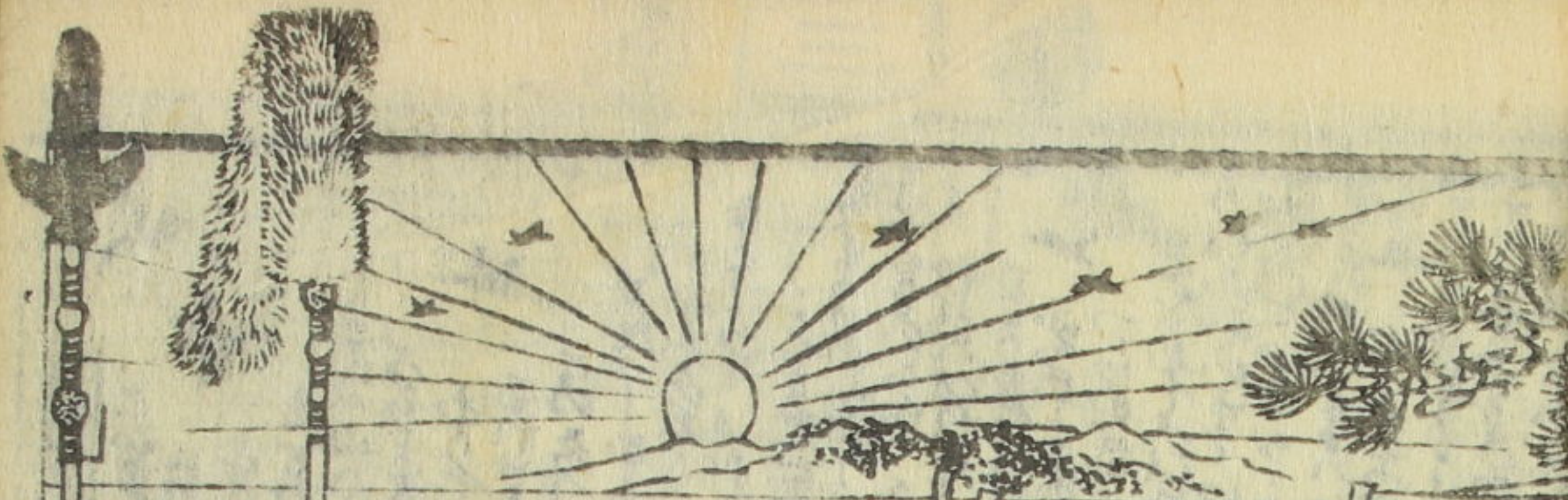
Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a playbill or commentary, located above the man's figure.

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a playbill or commentary, located below the man's figure.

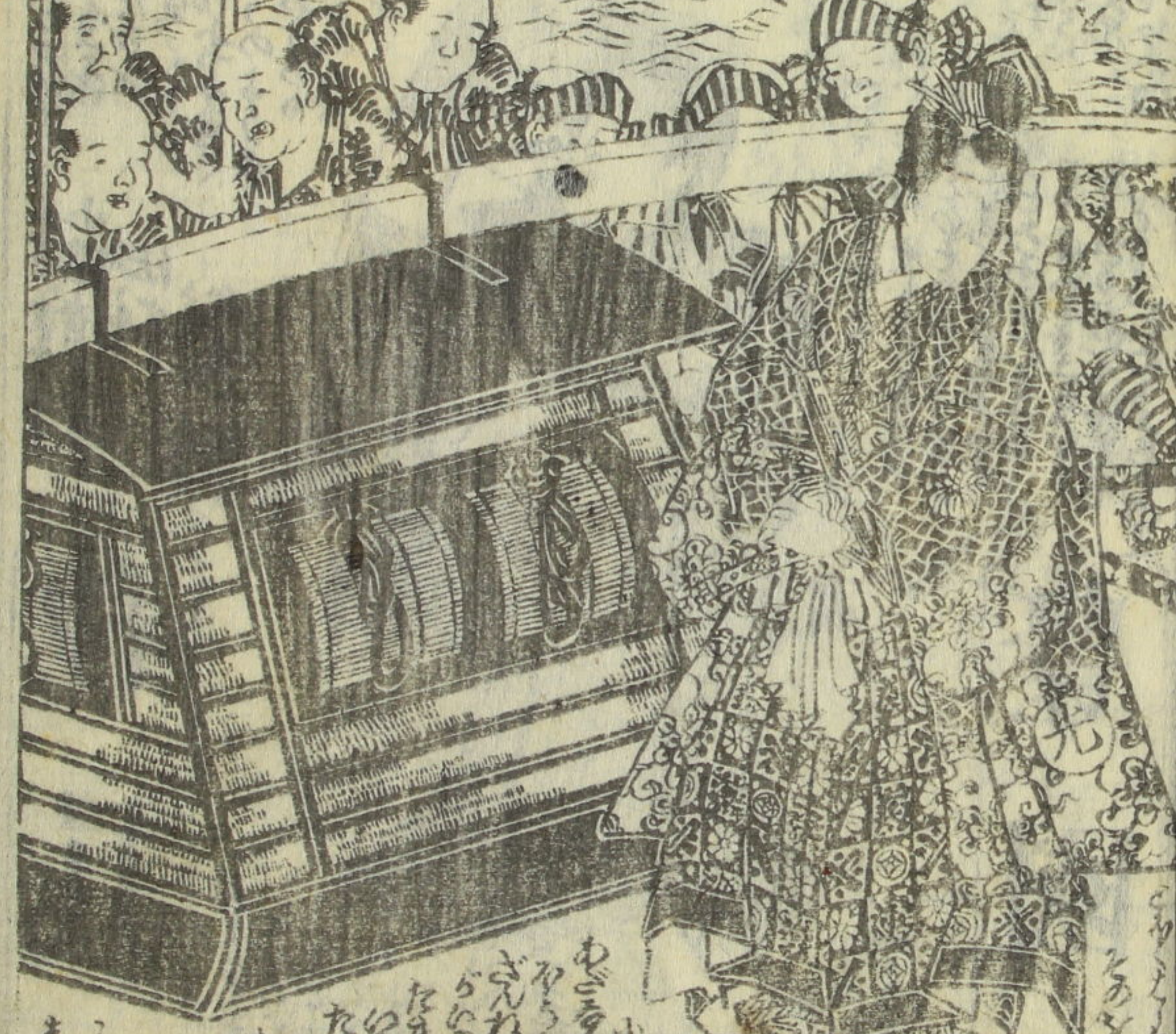


Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a playbill or commentary, located above the women's figures.

Horizontal columns of handwritten Japanese text at the bottom of the illustration, including the names of the performers and the play.



あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△  
あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△



あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△  
あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△



あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△  
あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△



あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△  
あつたまを  
ひらきだして  
のまらしく  
△

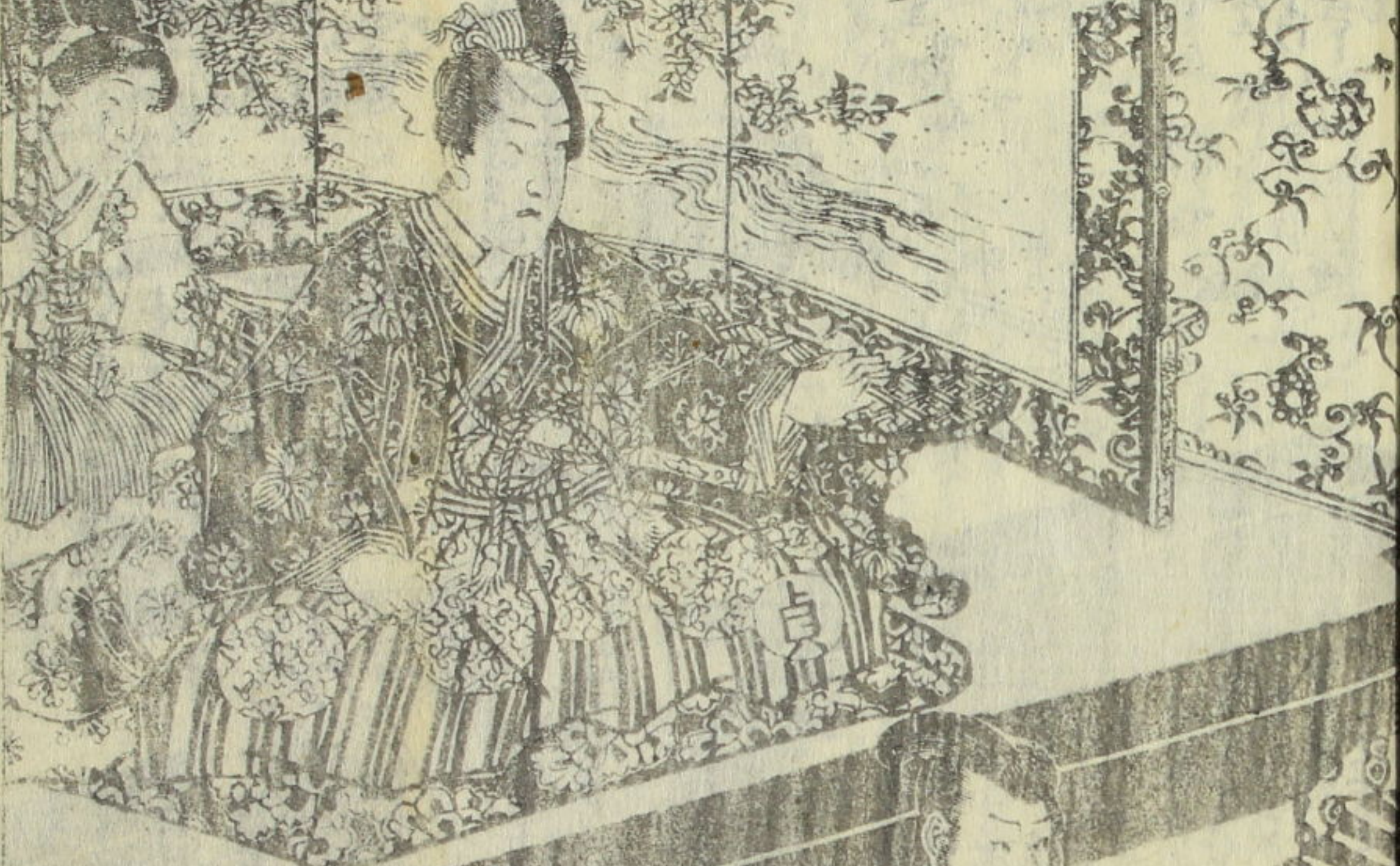






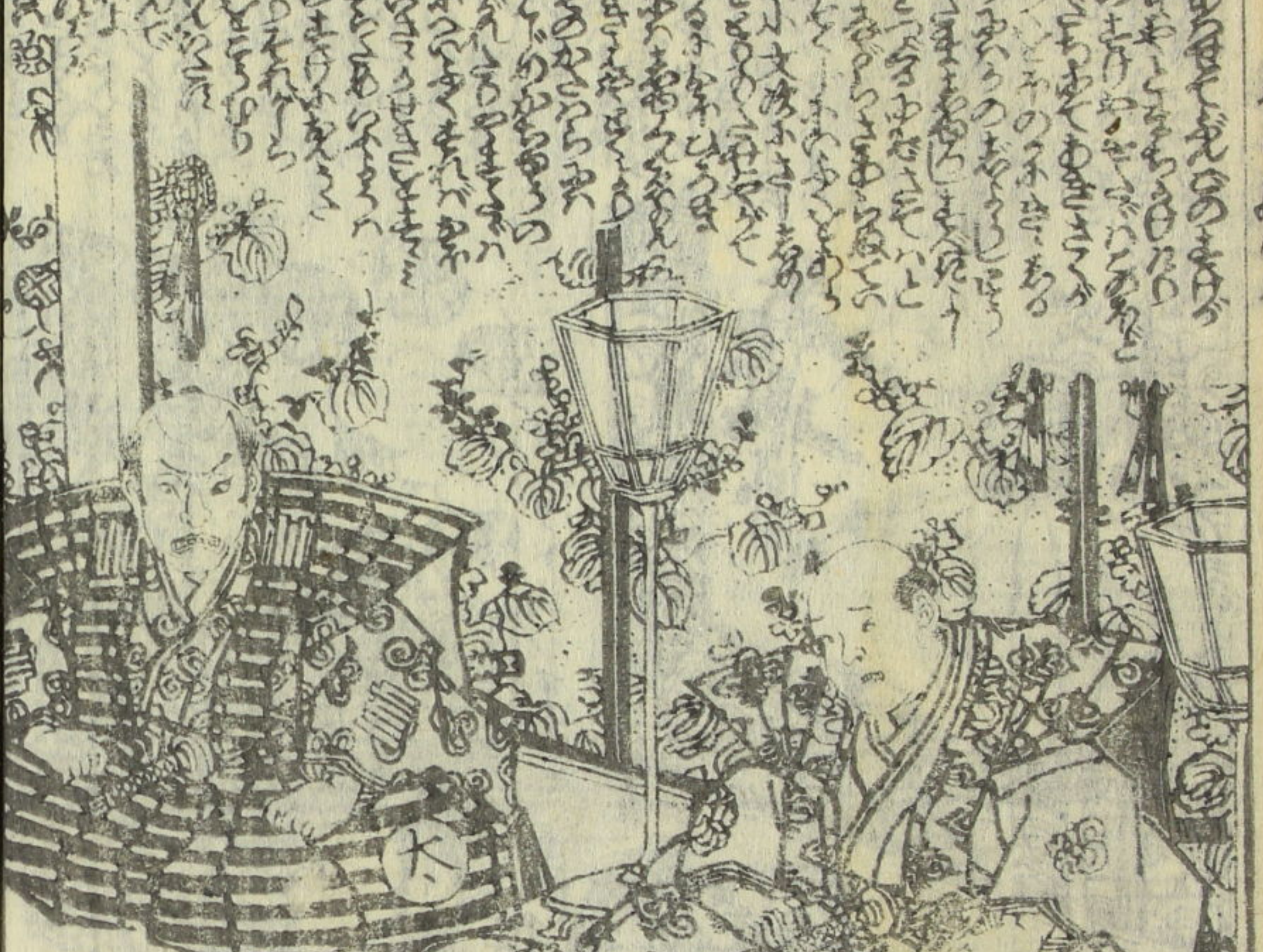


Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the left page.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the right page.



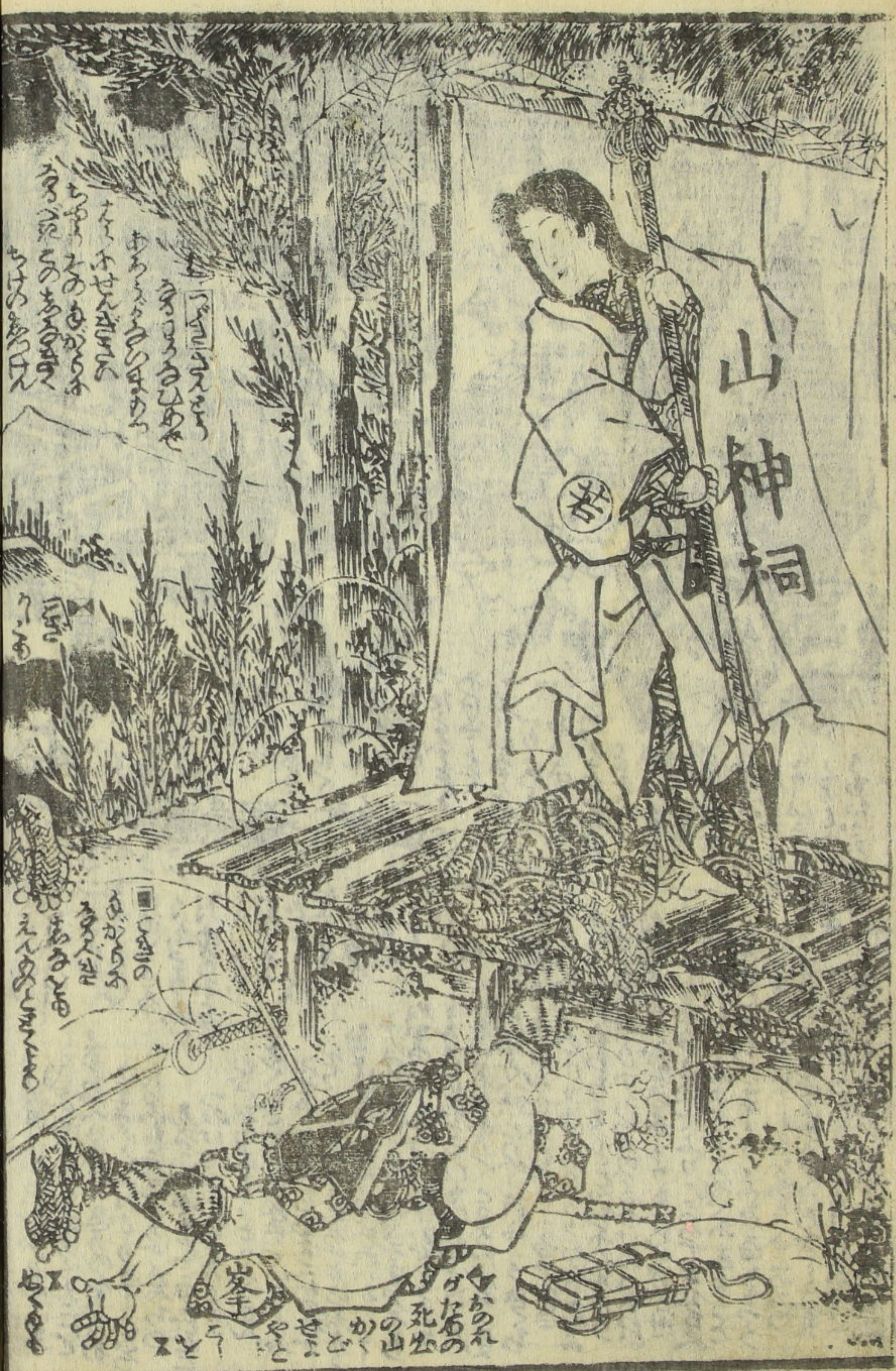
Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the right page.











此の巻の黒白の異色異う同物あり是等とさして反對と稱せども  
此巻中の若菜姫鳥山秋作も又然心小邪正の懸隔をいれども  
所業ハ髣髴女丈夫英勇勝負と争ふ互角高枝枯と断照忠の  
齊力割と鬆糠子が妖術錦ヶ嶽の鉄錫のらも手小條を引張る  
策子の盤面敵散一頻小工夫ハ態ども好作意と視る妙手ハ  
出で下手の考案止小似るれ常言も的哉と拙き自を歎く  
只管冀晋官の御助言所謂他見八目の八編の序ハ因基の詞  
本據ス斯ハ記ハ



種員作豊國画

八編の巻首ハ  
説ひきつる  
公服ハ 胡倉伊ハ  
若那無と教作  
用女の形を  
換らふこと  
あ半丁小車  
安養法知の  
大龜塚ハ海を  
せんそ白木山  
小登る車ハ  
八編の巻首ハ  
説ひきつる

不知火物語第八編叙

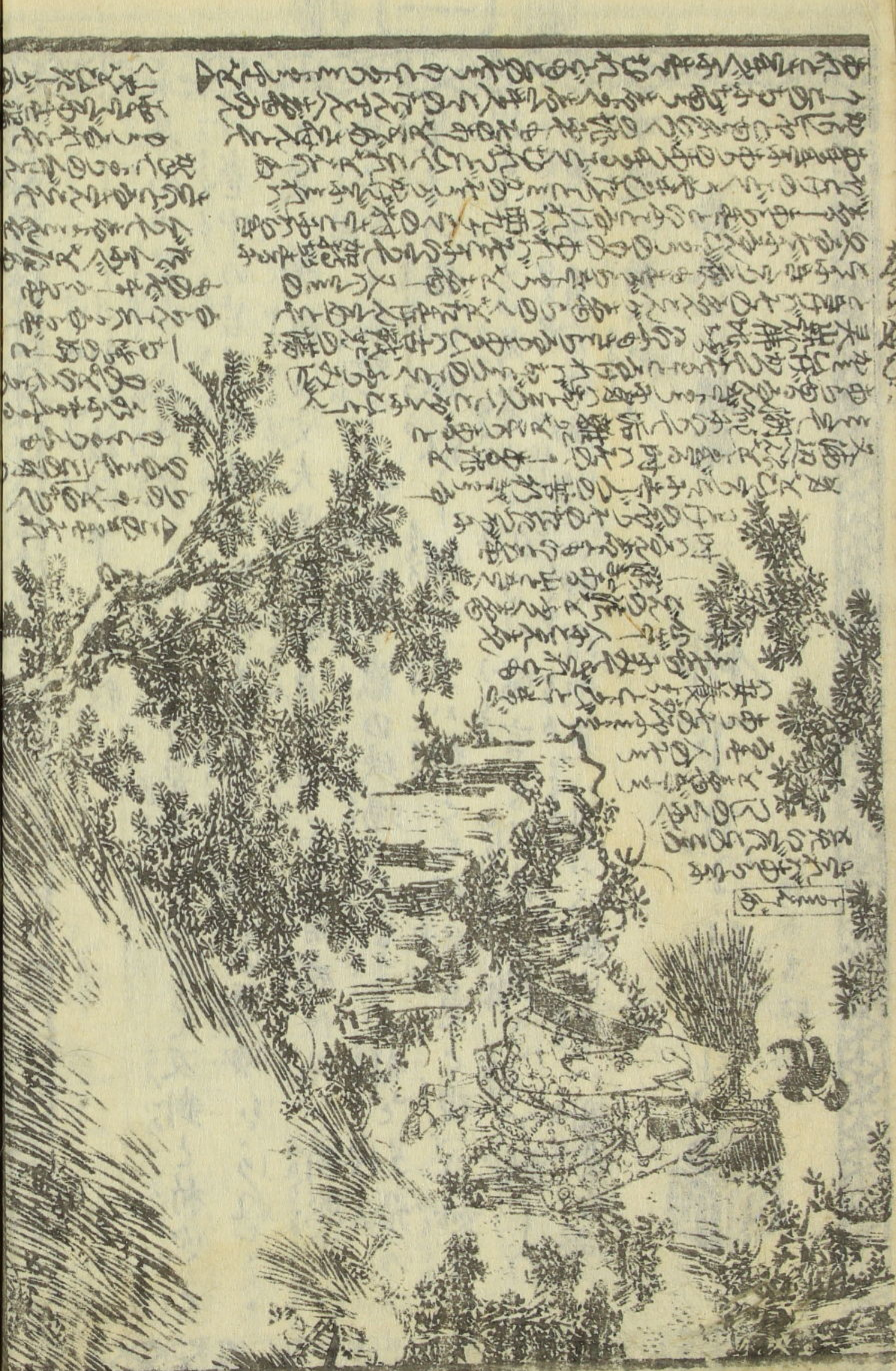
基石の黒白の異色異う同物あり是等とさして反對と稱せども  
此巻中の若菜姫鳥山秋作も又然心小邪正の懸隔をいれども  
所業ハ髣髴女丈夫英勇勝負と争ふ互角高枝枯と断照忠の  
齊力割と鬆糠子が妖術錦ヶ嶽の鉄錫のらも手小條を引張る  
策子の盤面敵散一頻小工夫ハ態ども好作意と視る妙手ハ  
出で下手の考案止小似るれ常言も的哉と拙き自を歎く  
只管冀晋官の御助言所謂他見八目の八編の序ハ因基の詞  
本據ス斯ハ記ハ

嘉永壬子開歲

柳下亭種員

柳下亭種員

















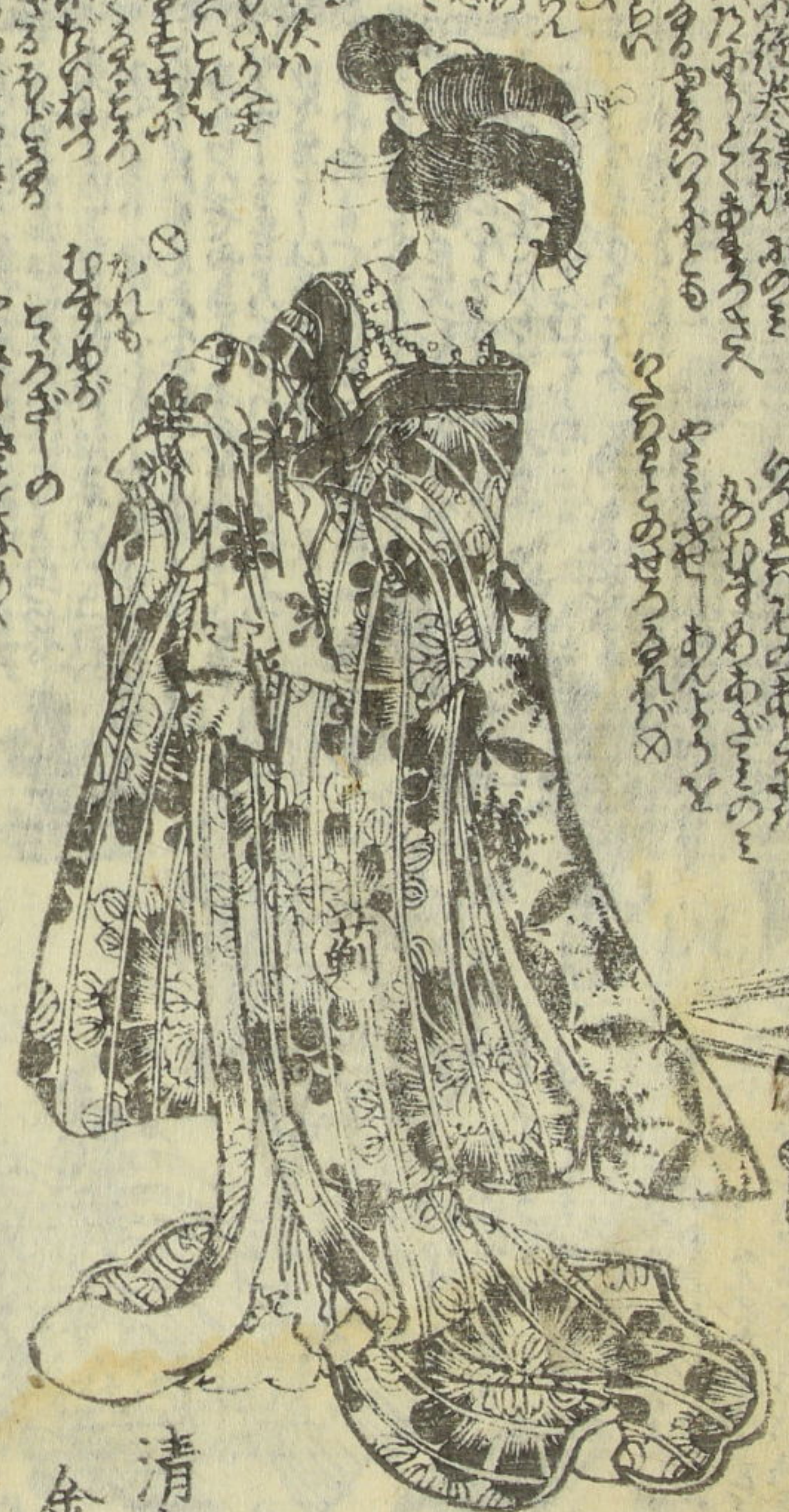






Handwritten text in vertical columns, likely describing the scene or providing commentary on the illustration.

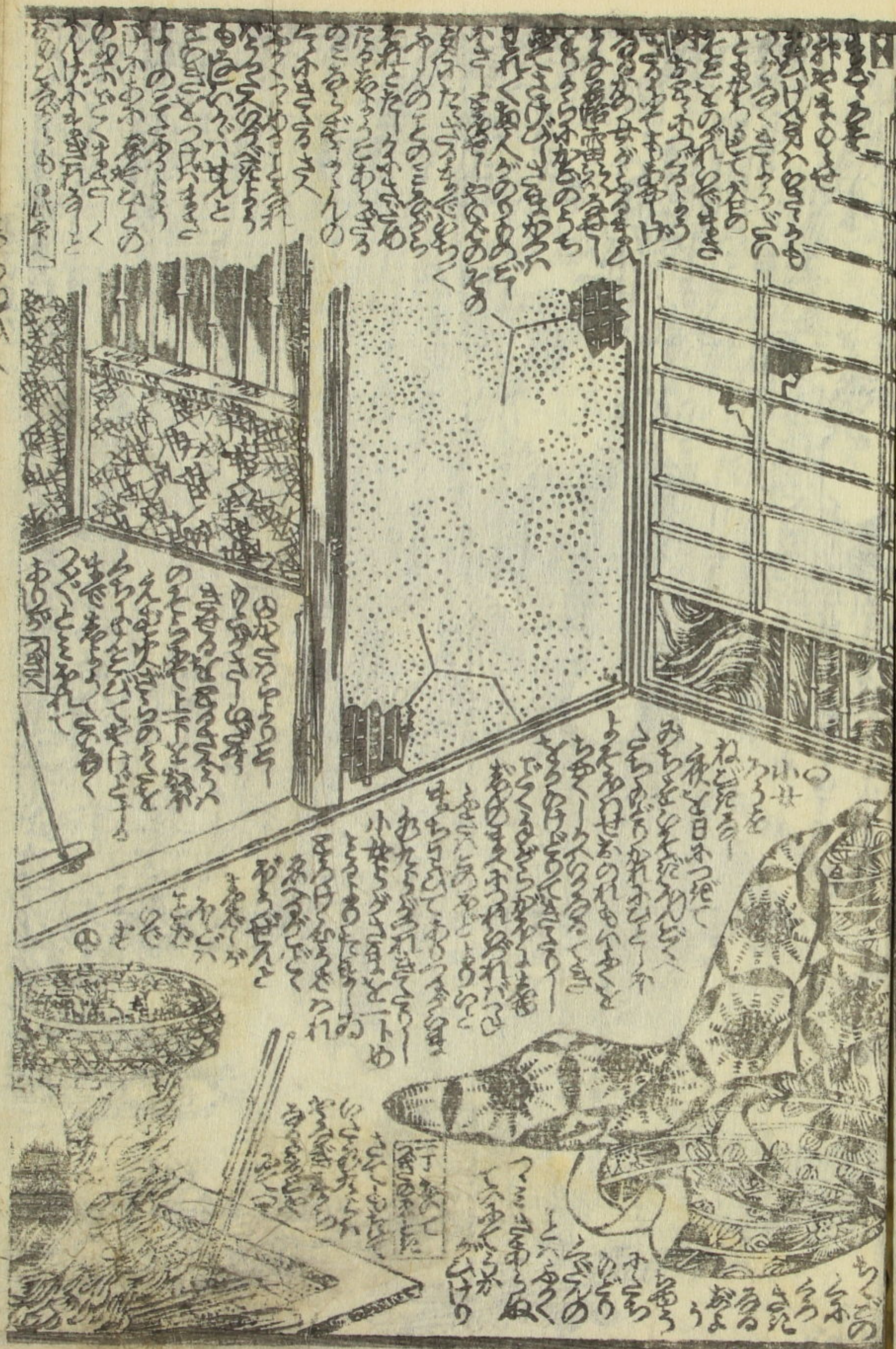
種員作豊国画



Handwritten text in vertical columns, likely describing the woman or the scene, including the name '清書' (Shyosho).

清書 金川





Handwritten Japanese text in the upper left corner of the illustration, likely a title or introductory text.

Multiple columns of handwritten Japanese text surrounding the central illustration, providing commentary or a narrative.

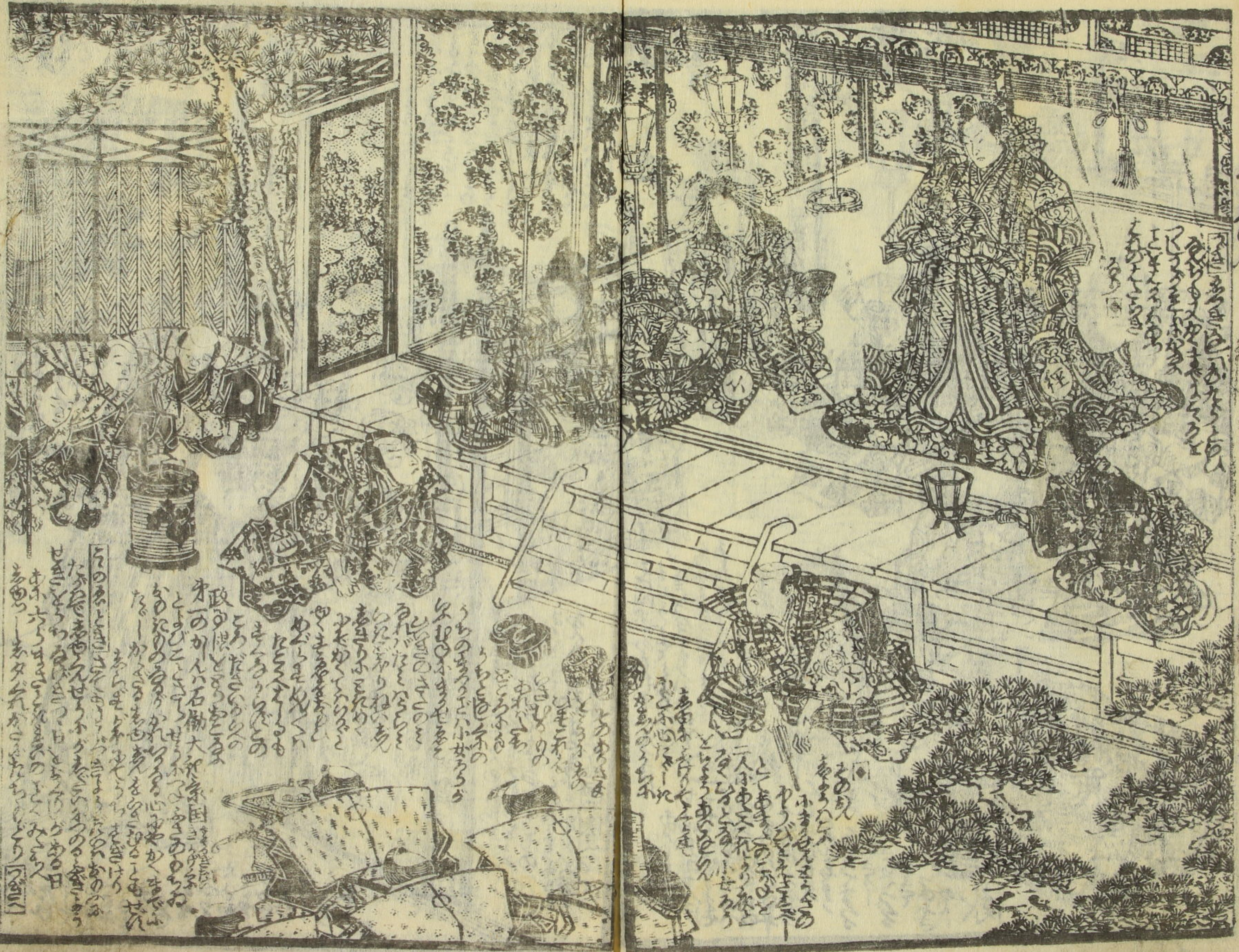


Handwritten Japanese text in the upper right corner of the illustration, likely a title or introductory text.

Multiple columns of handwritten Japanese text surrounding the central illustration, providing commentary or a narrative.







あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは

あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは

あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは

あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは  
あまのこゝろは





此二ハ鶴津六郎  
第七郎ハののこ  
見栄

△おん  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち

おん  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち

おん  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち  
よつれさまを  
ひらきよのたひ  
まきつるあつち







龍櫻江化瀧浪 初編二編  
柳畑亭種久作  
一壽齋國貞画



星月夜窓下白梅  
初編二編  
翠松園種春作  
一雄齋國輝画

種員作 國貞画  
國要改二代

朝倉伊八  
清書  
金川

七草四郎  
若菜姫

志乃良忠を禪

柳下真種員作  
柳亭種彦校合  
秋川國貞画

房あぐさ寸の報あやりのみ

人形町通り喜久壽福太郎

おのの 雨と色 せむぎ 知んる  
おのの 柳 菜花のそり  
おのの 柳 菜花のそり  
おのの 柳 菜花のそり



地本流子試の巻 人形町通、廣岡屋幸助板

